

平成 30 年度 公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム
短期集中講義「ふじのくに学（お茶）」募集要項

1 実施科目

ふじのくに学（お茶） 科目提供大学：静岡県立大学

2 ねらい

日本茶に関して、植物としての茶から茶葉への過程を知るとともに、国内外の様々な茶をめぐる情勢について学び、これからのお茶の可能性を考える。

3 講義計画及び期間

取得単位数：2 単位

実施日	内 容	会 場
10 月 13 日（土） 8:30 集合 ↓（合宿）	○フィールドワーク・実習「茶畑から、卓袱台へ」 静岡大学 農学部 稲垣栄洋 教授 他 ○講義「茶学総論」 講師：静岡県立大学 茶学総合研究センター 中村順行特任教授	集合：JR 藤枝駅（予定） 宿泊場所：静岡大学地 域フィールド科学教育 研究センター（藤枝市 仮宿 63）
10 月 14 日（日） 8：30 藤枝出発 10：00～16：00	○茶生産を支える産地の生活 講義「お茶栽培と川根の日常生活」 元大井川農業協同組合 普及指導員 坂本 勝氏 見学実習「多様な茶の栽培と加工」（大井川農協職員） ※茶摘みから釜炒り茶づくり、品種の飲み比べ 見学「山間地の茶畑」	川根本町農林業センタ ー（川根本町地名 1493- 2）
11 月 25 日（日）	○講義 「静岡の茶産業」 講師：ふじのくに茶の都ミュージアム 副館長 白井 満 氏 ○講義 「お茶の特性を生かした商品開発」 講師：株式会社伊藤園開発二部長 笹目 正巳 氏 ○施設見学と体験「世界と日本のお茶を知る」	ふじのくに茶の都ミュ ージアム（島田市金谷 富士見町）
12 月 15 日（土）	○講義 外国人から見た日本茶：その魅力と可能性 講師：株式会社おちゃらか代表 Stéphane DANTON 氏 ○グループワーク「これからの日本茶を考える」 ○全体総括 講師：静岡県立大学 中村順行 特任教授	静岡県立大学経営情報 学部棟 4314 教室（静岡 市駿河区谷田 52-1） ※静岡市お茶の学校卒 業者の有志の参加（合 同）

注）本講義計画の内容や順序については予定であり、変更になる場合もあります。

4 募集対象及び募集学生数

単位互換協定校（静岡大学、静岡県立大学、常葉大学、静岡理工科大学、沼津工業高等専門学校、浜松学院大学、静岡産業大学、静岡英和学院大学）の学生を対象とする。定員 40 人（最少人数 15 人）
※40 人を超えた場合は抽選になります。ただし、定員の半数は、科目提供大学（静岡県立大学）に優先的に配分します。また、15 人に満たない場合、開講しない可能性があります。

5 授業料（聴講料）

無料。ただし、10 月 13 日、14 日の合宿費用（宿泊費・バス代・昼・夕・朝・昼食代）として 5,000 円の参加費を初日（10 月 13 日）に徴収します。

また、集合場所までの交通費については、参加者負担とします。

6 出願資格

単位互換協定校に在籍し、全日程（4 日間）に受講可能な学生。ただし、卒業年次の学生は、原則として受講できません。

7 出願手続き

別添の単位互換科目履修願により、在籍する大学の教務事務窓口に提出してください。
（提出期間：平成 30 年 9 月上旬～ 9 月中旬）←各大学で確認してください。

8 受講の決定通知時期及び方法

受講の決定通知は、在籍する大学を經由して、10 月 1 日（月）頃に行います。
なお、決定後の履修取消は、原則として認めません。

9 単位の認定

単位の認定は、在籍する大学の定めるところにより行います。
成績の証明は、在籍する大学で行います。
詳しくは、在籍する大学の教務事務窓口にお問い合わせください。

10 静岡県立大学の学生へ

全学共通科目の「茶学入門」（後期開講）と本講義は内容が一部重複するため、「茶学入門」履修者が本講義を履修する場合、単位認定はしませんが受講は可能です（両方履修する場合、先に履修した方を単位認定します）。ただし、定員があるため、「茶学入門」未履修者を優先します。